

定期予防接種表										
種類	ワクチン 種類	接種対象年齢 (対象期間)	接種回数等		接種間隔(標準的な接種期間)	接種量	方法	備考	予診票配布時期	
			合計回数	内訳						
ロタウイルス ※どちらかを選んで、同一の ワクチンで必要回数接種	生	出生6週から24週	2回	ロタリックス (1価)	標準的には初回接種を生後2か月から出生14週6日までまでに接種し、1回目の接種から27日以上の間隔をおいて2回目を接種	1.5ml	経口	※ロタリックスは2回接種、ロタテックは3回接種となっている。 どちらのワクチンも初回接種を出生14週6日までに行い、出生15週0 日以降の初回接種は安全性の観点からお勧めしない。		
	生	出生6週から32週	3回	ロタテック (5価)	標準的には初回接種を生後2か月から出生14週6日までまでに接種し、2回目以降の接種は27日以上の間隔 において接種	2ml				
B型肝炎	不活化	1歳になる前日まで	3回	初回 2回 追加 1回	(標準的な接種期間: 生後2カ月～9カ月になる前まで) 1回目の接種から27日以上の間隔をおいて2回目を接種 1回目の接種から139日以上の間隔をおいて3回目を接種	各0.25ml	皮下	※B型肝炎ウイルス(HBs抗原)陽性の母親から生まれた新生児に対し、 母子感染予防のために抗HBsを免疫グロブリン投与と併せてB型肝炎 ワクチンの接種を受けた場合は、健康保険適用となり、定期接種の対象 ではなくなります。		
ヒブ(インフルエンザ菌b型)	不活化	生後2カ月から5歳になる前日まで ※生後2カ月から7カ月未満の間に接種を 開始することが望ましい	4回 3回	初回 3回 追加 1回	【初回接種開始時月齢が生後2カ月から7カ月未満】 1歳になる前までの間に27日(医師が必要と認めた場合は20日)以上の間隔をおいて3回 (標準的には、27日～56日までの間隔) 初回3回目の接種終了後7カ月以上の間隔(標準的には、初回3回目の接種終了後7カ月～13カ月までの 間隔)をおいて1回	各0.5ml	皮下	【初回接種開始時月齢が生後2カ月から7カ月未満】 ※初回2回目および3回目は、1歳未満までに終了させる。 ※初回2回目および3回目が1歳を超えた場合は行わない。(追加接種は可能) ※初回2回目あるいは3回目が1歳未満までに終了せず、1歳以降に追加接種 を行う場合は、初回の1回目あるいは2回目の終了後、27日(医師が必要と認 めた場合は20日)以上あけて行う。	生後2カ月になる前 (こんにちは赤ちゃん訪問時にお届け)	
				【初回接種開始時月齢が生後7カ月から12カ月未満】 1歳になる前までの間に27日(医師が必要と認めた場合は20日)以上の間隔をおいて2回 (標準的には、27日～56日までの間隔) 初回2回目の接種終了後7カ月以上の間隔(標準的には、初回2回目の接種終了後7カ月～13カ月までの 間隔)をおいて1回	【初回接種開始時月齢が生後7カ月から12カ月未満】 ※初回2回目は、1歳未満までに終了させる。 ※初回2回目が1歳を超えた場合は行わない。(追加接種は可能) ※初回2回目が1歳未満までに終了せず、1歳以降に追加接種を行う場合は、 初回の1回目の終了後、27日(医師が必要と認めた場合は20日)以上あけて 行う。					
				【初回接種開始時月齢が1歳から5歳未満】 1回						
				初回 3回 追加 1回	2歳になる前(標準的には、1歳になる前)までの間に27日以上の間隔をおいて3回 初回3回目の接種終了後60日以上の間隔をおいて、1歳以降に1回接種 (標準的には、初回3回目の接種終了後60日以上あけて、1歳～1歳3カ月の間に1回接種)			【初回接種開始時月齢が生後2カ月から7カ月未満】 ※初回2回目および3回目は、2歳未満(標準的には1歳未満)までに終了させ る。 ※初回2回目および3回目が2歳を超えた場合は行わない。(追加接種は可能) ※また、2回目が1歳を超えた場合、3回目は行わない(追加接種は可能)		
				【初回接種開始時月齢が生後7カ月から12カ月未満】 2歳になる前(標準的には、1歳になる前)までの間に27日以上の間隔をおいて2回 初回2回目の接種終了後60日以上の間隔をおいて、1歳以降に1回接種	【初回接種開始時月齢が生後7カ月から12カ月未満】 ※初回2回目の接種は、2歳未満(標準的には1歳未満)までに終了させる。 ※初回2回目が2歳を超えた場合は行わない。(追加接種は可能)					
				【初回接種開始時月齢が1歳から2歳未満】 2回 60日以上の間隔をおいて2回 【初回接種開始時月齢が2歳から5歳未満】 1回						
				4種混合(ジフテリア・百日 咳・破傷風・ポリオ)	不活化			生後2カ月から7歳6カ月になる前日まで		4回
2種混合(ジフテリア・破傷風)	不活化	11歳から13歳になる前日まで	1回		(標準的な接種期間: 11歳～12歳)	0.1ml	皮下		11歳のお誕生日の翌月初旬に郵送	
BCG(結核)	生	1歳になる前日まで	1回		(標準的な接種期間: 生後5カ月～8カ月の間)		所定のス ポイトで 滴下	経皮	※コッホ現象…BCGを接種した10日前後に接種部位の発赤・はれ・化膿がおこりますが、 接種後数日ですぐにその反応が起こった場合は、コッホ現象といって、お子さんが 接種前に結核菌に感染している可能性があります。コッホ現象と思われる反応がみら れたら、速やかに接種医療機関を受診してください。	こんにちは赤ちゃん訪問時にお届け
MR(麻しん・風しん)	生	1歳から2歳になる前日まで 5歳から7歳未満の 小学校就学1年前の方	2回	1期 1回 2期 1回		各0.5ml	皮下	※1歳になったらできるだけ早期に行う ※該当年度の4月1日～3月31日まで接種可能	小学校就学1年前のお子さんに年度 当初(4月初旬)に郵送	
水痘(水ぼうそう)	生	1歳から3歳になる前日まで	2回		3カ月以上(標準的には6カ月～12カ月)の間隔をおいて2回(標準的な接種: 1歳～1歳3カ月の間に1回 目を接種。1回目の接種終了後6カ月～12カ月の間に2回目を接種)	各0.5ml	皮下			
日本脳炎	不活化	生後6カ月から7歳6カ月になる前日まで	4回	1期初回 2回 1期追加 1回	6日以上(標準的には、6日～28日)の間隔をおいて2回(標準的な接種期間: 3歳から4歳) 初回2回目の接種終了後6カ月以上(標準的には、おおむね1年)の間隔をおいて1回 (標準的な接種期間: 4歳から5歳)	3歳以上 各0.5ml 3歳未満 各0.25ml	皮下		こんにちは赤ちゃん訪問時にお届け	
		2期 1回		(標準的な接種期間: 9歳～10歳)	0.5ml			9歳のお誕生日の翌月初旬に 郵送		
		9歳から13歳になる前日まで								
子宮頸がん (ヒトパピローマウイルス) ※どちらかを選んで、同一の ワクチンで必要回数接種	不活化	12歳になる年度の初日から16歳となる年 度の末日まで(小学6年生から高校1年生 相当まで)の女子	3回	サーバリックス (2価)	1カ月の間隔をおいて2回接種後、1回目の接種から6カ月の間隔をおいて3回目を接種 ※この方法で接種できない場合は、1カ月以上の間隔をおいて2回接種後、1回目の接種から5カ月以上、かつ 2回目の注射から2カ月半以上の間隔をおいて1回接種する。(標準的な接種期間: 中学1年生)	各0.5ml	筋肉内	※13歳以上の女性の方への接種にあたっては、妊娠中もしくは妊娠し ている可能性がないことを確認してください。	中学1年生の年度当初(4月初旬)に 郵送	
				ガーダシル (4価)	2カ月の間隔をおいて2回接種後、1回目の接種から6カ月の間隔をおいて3回目を接種 ※この方法で接種できない場合は、1カ月以上の間隔をおいて2回接種後、2回目の接種から3カ月以上の 間隔をおいて1回接種する。(標準的な接種期間: 中学1年生)	各0.5ml	筋肉内			

☞ 予防接種を受けるときは、対象年齢の範囲内であるか確認しましょう。接種対象年齢(対象期間)が過ぎてから受けた予防接種は、全額自己負担の任意接種となります。
 ☞ 必ず母子健康手帳で、今日受ける予防接種の種類と何回目の接種か、前回受けた予防接種とその日にち(接種間隔)も確認しましょう。

村で接種費用を助成する任意予防接種									
種類	ワクチン 種類	助成対象者	助成回数	接種間隔	接種量		備考	予診票配布時期	
おたふくかぜ	生	1歳から6歳以下 (小学校就学前の3月31日まで)	1回		0.5ml	皮下	接種料金一部助成: 上限3,000円	随時窓口にて交付	
子どもインフルエンザ	不活化	生後6カ月以上3歳未満	毎年2回	およそ2週間から4週間の間隔において2回目を接種	0.25ml	皮下	接種料金一部助成: 1回1,000円 (13歳未満は2回、13歳以上は1回 の助成)	10月～1月窓口交付	
		3歳以上13歳未満	毎年2回	およそ2週間から4週間の間隔において2回目を接種	0.5ml				
		13歳以上中学3年生まで	毎年1回		0.5ml				